

## 第 25 回 氷川参道歩行者専用化検討協議会

### ① 開催概要

日時	令和 6 年 12 月 24 日（火） 10 時 00 分～12 時 00 分
場所	大宮区役所 6 階 601・602 会議室
出席者	<p><b>【学識】</b>          ・埼玉大学 理工学研究科 准教授 小嶋 文</p> <p><b>【交通管理者】</b>          ・埼玉県警察本部 交通規制課 課長 小野瀬 孝          佐々木 一郎（代理）          ・大宮警察署 交通課 課長 片貝 浩之          萬年 克己（代理）</p> <p><b>【道路管理者】</b>          ・さいたま市 建設局 北部建設事務所 所長 安倍 勝仁          課長補佐 山本 佳洋（代理）</p> <p><b>【沿線自治会】</b>          ・吉敷町 2 丁目自治会 会長 星野 弘          ・吉敷町 3 丁目自治会 会長 松雪 三十二          ・吉敷町 4 丁目自治会 会長 渡辺 タカ          ・浅間町 1 丁目自治会 会長 土屋 剛          ・浅間町 2 丁目自治会 会長 宮野 豊之          ・大門町 3 丁目自治会 会長 逸見 裕一          ・仲町 3 丁目自治会 会長 岡部 昌寿          ・東町 1 丁目自治会 会長 小林 正利          ・下町明美会 会長 小笠原 恒夫</p> <p><b>【協議会】</b>          ・氷川の杜まちづくり協議会 会長 山田 とも子          ・ " 副会長 本島 紋次郎          ・ " 副会長 横山 好之          ・ " 副会長 大越 正和</p>
欠席者	・埼玉大学 理工学研究科 名誉教授 久保田 尚 ・吉敷町 1 丁目自治会 会長 関口 彰一
配布資料	・次第 ・委員名簿、席次表 ・資料 第 25 回氷川参道歩行者専用化検討協議会資料 ・参考資料 氷川参道歩行者専用化検討協議会設置要綱

## ②議事要旨

発言者	内容
(1)氷川参道交通社会実験の結果報告について	
●交通量調査結果の説明（さいたま市）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P. 7 抜け道において減少した交通量の表記に、マイナスの有無が混在している。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青い表記は減少を意味している。修正を行う。</li> </ul>
●参道内の歩行者・自転車の説明（埼玉大学）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者、自転車それぞれが色々なスピードで走っているが、ベビーカー、高齢者の手押し車、ランナー、自転車(スポーツタイプ・電動アシスト)などで、スピード差が危険と感じる。本来参道は安全な場所であるはずが、危険な状況になっている。</li> <li>・幸福の科学横の交通シミュレーションでは想定で 25 倍になるとの予想が実際には 2 倍で安心した。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通シミュレーションに比べ、実際の台数は少なかった。</li> <li>・指摘のとおりクルマよりも自転車が危険と感じる人が多い。今回の協議会では自転車の問題には深く触れないが、次回以降はきちんと触れて対策を検討したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・許可車両以外の参道進入が多い印象である。</li> <li>・事業者向けの宅配が多いのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北区間の片倉新道から北側については、許可車両以外のクルマが多く通る結果となった。</li> <li>・許可車両以外のクルマについては、許可証の発行漏れがあった場合や帰宅するのに強引に通ったケースもあった。なお、その内訳は、わからない。</li> <li>・北区間は許可証を求める数も多いので、発行の仕方も課題となっている。</li> </ul>
●アンケート調査結果の説明（さいたま市）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P. 26「北区間は今のままが良いとする回答が沿道にお住まいかどうかに関わらず他地区より多くを占めている」という意見について、北区間の皆さんがそう思っていると断定していただきたくない。自分は北区間の参道に出る道路の角に住んでいる。今後、マンションから細い道を通って参道に出る人が多くなる可能性もある。今のままが良いとする回答が多いと総括しているが、地域の特徴を汲み取ってほしい。</li> <li>・P. 27「クルマの通行路の代案もなく、ただただ通行を禁止され」と書いてあるが、この一言でこれまでの取り組みが片づけられるのは納得できない。さいたま市は参道の歩行者専用化も視野に入れて氷川緑道西通線の拡幅を行った。このような努力が住民に浸透していないことが残念である。市から住民への周知が足りないことも問題である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読む人に誤解を与えないよう、表現方法を考え修正する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほど話のあったP. 27「クルマの通行路の代案もなく、ただただ通行を禁止され」という意見は地域によって状況が違うと思う。一の鳥居から南大通東線までの区間は通行路の代案が無く吉敷町 2 丁目の意見かもしれない。個人の意見にそこまで注視する必要はないと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験中は、許可車以外の宅配車両には許可を出さなかったのか</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅配車両については許可証発行の対象外としていることは説明しており、家の近くにクルマを停めて、台車で荷物を運んでもらった。なお、実験中は通過を控えてほしいという説明も併せて行っている。</li> </ul>

発言者	内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P. 26 大門町 3 丁目は、アンケート回答者の母数は少ないが、歩行者専用化に対してネガティブな結果が顕著に出ている。沿道のお宅一軒ごとに状況が違い、要望は違うと解釈している。一軒ごとに対応が必要ではないかと考える。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大門町 3 丁目については、沿道のお宅に伺って説明し社会実験を進めた。実験結果についても、同様に伺って報告することを考えている。</li> </ul>
(2) 今後の方針について	
● 今後の方針の説明 (さいたま市)	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 片倉新道について、東向き一方通行の区間を延長すると下校時の生徒 (PM3:30~4:00) に対し、後方からクルマが来ることになるので危険性が極めて高くなり現実的ではない。</li> <li>・ 片倉新道の志水屋前交差点は通学する児童の総数が多い。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の実情に即した意見であり、通学ルートの変更など、対応策は学校とも相談したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議会は、30 年ほど前に氷川参道を軸とした緑のまちづくりをスタートさせた。参道の歩行者専用化については、周知が少ない気がする。会議で決まって回覧板で回すという方法は一般の人に周知されない。参道を利用するクルマに対して、「参道は今後、歩行者専用化とする予定」といった周知看板を掲出しても良いのではないか。</li> <li>・ 参道の歩行者専用化は、これから移り住んでくる人にも周知が必要である。歩行者専用化することを知っていれば、新たに家が建つ時、参道にクルマが入らないですむ車庫の配置を考えることができる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後々問題にならないようにするためにも、周知看板の掲出をしていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何のために歩行者専用化するのかを前面に出し、PR や周知を積極的に実施してほしい。</li> <li>・ 色々な意見を聞いていたらきりが無く、25 回も協議会をやっている歩行者専用化の進みが悪いように感じる。</li> </ul>
座長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行者専用化に向けて激励の言葉を頂いた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 突然歩行者専用化と言われても知らない人は意味が分からない。</li> <li>・ 歴史ある日本で一番長い 2 キロの参道に車が通るといのは聞いたことがない。緑の空間を次世代に受け渡していきたいという思いで、歩行者の安全性を高めることを目指し、氷川の杜まちづくり協議会はスタートした。</li> </ul>
座長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P. 36、37 の歩行者専用化に向けた進め方についてご意見を頂きたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日によって歩行者専用化かどうかが違うと歩行者は混乱してしまうので、しない方が良い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全区間一気に歩行者専用化する案がどうしてないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全区間を歩行者専用化することは前提としている。ただ、社会実験で志水屋交差点などの課題を確認することができた。その課題を解消するには時間を要する可能性がある。そのため周辺住民の機運が下がらないよう少しでも進めるために A 案、B 案を提示した。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南北ともに土日だけ歩行者専用化実施はどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北区間で、土日全区間整備案を示していないのは、片倉新道の一方通行の変更を土日だけ実施するのが現実的に難しいためである。</li> </ul>

発言者	内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北区間に関して、土日全区間整備が難しいことは理解した。</li> </ul>
座長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先送りするための暫定案ではなく、歩行者専用化を進めながら社会実験でわかった課題を解決していくという方針で良いか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針は、その通りである。</li> <li>・市としては、北区間、南区間ともに A 案で進めたいと考えている。</li> <li>・北区間は志水屋前交差点の課題があるが、解決策を探りながら部分的に先行して歩行者専用化を実施したい。</li> <li>・南区間は全区間歩行者専用化としたいが許可車両の課題があるため、解決策を探りながら先行して一部の歩行者専用化を実施したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・許可車両の課題解決案は見通しがあるか。</li> <li>・親戚や友達のクルマはどうするのか。それを考え出すときりがないと思う。</li> <li>・歩行者専用化を全線一気にやって問題を洗い出すしかないのではないか。</li> </ul>
座長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規制方法については P. 39 にあるように事務局も検討している。</li> </ul>
委員 (大宮警察)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者専用化道路となると許可証は、基準に則り許可を出すとともに、必要最低限の通行で許可を出すことになる。それ以外の通行は違反となるので規制がかかれば最終的には取り締まりをすることになる。</li> <li>・物理的なデバイスが無いと、参道に入ろうとするクルマがでてくる。</li> <li>・歩行者専用化を標識だけの状態にしておく、間違っ入ってくる車がいるので分かりやすく表示するなど、今後考えていく必要がある。</li> </ul>
座長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北区間は A 案、南区間は A 案で、一部区間を先行して実施するというので良いか。</li> </ul>
一同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異議なし</li> </ul>
座長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民意見交換会は、令和 7 年 2 月 22 日、3 月 1 日の実施を予定している。</li> <li>・本日の資料や議論の内容を住民に紹介する予定であり、協議会委員の方にも参加頂きたい。引き続きご協力をお願いしたい。</li> </ul>

以上